

報道関係各位

件 名 市内の停電に伴う新型コロナウイルスワクチンの 取扱対応について（第2報）

令和3年7月28日20時36分頃より、落雷が原因とみられる大規模な停電が発生したことに伴い、市内医療機関で保管していたファイザー社製ワクチンの一部を廃棄処分とすることとしましたので、ご報告いたします。

市内医療機関のうち、新型コロナウイルスワクチンの接種を実施している医療機関は22カ所あり、そのうち停電の影響があった医療機関は17カ所となります。

各医療機関では、停電直後の速やかな電源の切り替え、保冷剤投入などの対応をしたところですが、ワクチンの管理条件（2℃～8℃）に基づく管理が不明なワクチンにつきましては、国からの通知などに基づき、品質が保てないことから廃棄することといたしました。

記

1 廃棄となったワクチン医療機関数及び本数

9 医療機関 96 バイアル（576 回分）

当面の接種に必要なワクチン数については、市で確保し分配します。

（参考：第1報で報告済み）

（1）超低温冷凍庫（ディープフリーザー）所有の医療機関

自家発電装置及び発電機により保管を継続し、ワクチン保管には影響はありません。

【ファイザー社製ワクチンの管理条件】

①冷凍されたワクチン

－75℃±15℃が保たれた状態で管理する。

②解凍されたワクチン

超低温冷凍庫（ディープフリーザー）から冷蔵庫に移したワクチンは、2℃～8℃で管理する。

【問い合わせ先】

担当者 健康づくり支援課長兼新型コロナウイルス
ワクチン接種対策室長 浅見 礼子
連絡先 TEL042-978-5882